

感染性胃腸炎について

☆感染性胃腸炎は感染力が強く、特に保育園などの集団施設では、あっという間に感染が広がってしまいます。

☆子どもさんが「お腹が痛い」と言われた時や、食欲のない場合は、嘔吐や下痢などが心配されますので、登園せずにご家庭で様子を見ていただくと助かります。

☆ウイルス性（ノロ、ロタ、アデノなど）のものと、細菌性（サルモネラ菌、病原性大腸菌など）のものがあります。

保育園で特に流行りやすい2つのウイルスについてお知らせします。



	ノロウイルス	ロタウイルス
主な症状	<ul style="list-style-type: none"> 嘔吐と下痢。 発熱を伴う時もある。 脱水を合併することがある。 下痢が治ったあとも、便にウイルスがしばらく排出される。（2～3週間） 大人にも罹患する。 	<ul style="list-style-type: none"> → 同じ（しばしば白色便となる） → 同じ → 同じ → 同じ ・5歳までの間にほぼすべての子どもが感染する。
潜伏期間	・半日～2日	・1日～3日
発症時期	・1年中だが、特に秋～冬	・冬～春
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> ・経口感染、飛沫感染、接触感染、空気感染。 ・感染した人の便や嘔吐物を触った事で。 ・感染した人の手を介して食品が汚染されたことによる食中毒。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経口感染、飛沫感染、接触感染。 → 同じ

<留意点>

◎石鹸と流水で丁寧に手を洗いましょう。

◎換気が大切です。

◎吐き気が強い間は、何も飲ませず落ち着いてきたら少しずつ飲ませましょう。嘔吐や下痢の場合、水分だけでなく塩分も補う必要があります。スポーツ飲料は甘味料が多く電解質や塩分が少ないので、それよりも、OS-1やアクアライトをお勧めします。

飲んででもすぐ吐いてしまう時は、無理に飲ませず受診しましょう。

◎下痢の人は、お風呂は最後に入り、お尻を優しくよく洗います。

保育園での対応

☆保健所の指導もあり、お子さんが保育園で嘔吐や下痢をした場合は感染拡大防止のため、衣服などに汚物が付着した場合は園では洗わず持ち帰っていただきます。ご理解・ご協力をお願い致します。

☆給食やおやつ時に感染性胃腸炎と思われる嘔吐があった場合、ウイルス付着が疑われるため、食事の途中で中止して代替食（パンやおにぎり）を提供する場合があります。

☆集団発生した場合、感染拡大防止のため、登園自粛（3日間程度の家庭保育）などを実施する場合がありますがご協力よろしくお願い致します。